☆ 第66号

2023年5月吉日 発行 $\stackrel{\wedge}{\square}$

ゼネラル社友会会報 $\stackrel{\wedge}{\boxtimes}$

☆ ☆

☆ ゼネラル社友会事務局 TEL: 070-5026-5499 $\stackrel{\wedge}{\sim}$

〒108-8005 東京都港区港南一丁目8番15号 Wビル21F

☆

☆ Eメール : bcd05340@nifty.com $\stackrel{\wedge}{\sim}$

☆ ホームページ: http://generalsyayukai.la.coocan.jp/

☆

4月に開催されました各支部の総会・懇親会のトピックス等を記載しました社友会会報第66 号をお届けいたします。

○ 会長メッセージ

 $\stackrel{\wedge}{\sim}$

 $\stackrel{\wedge}{\sim}$

「そよかぜに青葉の香りが爽やかな季節です。」

長かったコロナ禍ではありましたが、各種の規制が徐々に緩和され日常の生活が少しずつ戻ってきた 今日この頃ですが、社友会の皆様におかれましては元気にお過ごしのことと存じます。

昨年度の支部総会/懇親会は、コロナ禍の中、開催を秋にずらすなどの対応をいただき、久し振りに 皆様がお会いできる機会を提供することができました。まだまだコロナが終息したわけではない中で、 各支部におかれましては、「無事に開催できるのか!」あるいは開催しても「社友会の皆様が集まって くれるのか!」何かと気苦労が大きかったと思います。ご苦労様でした。

今年度の支部総会/懇親会は、4 支部共(東日本/中部/関西/九州)通常どおり春に開催する事を計画し、 4年振りに、無事予定通り開催されました。本当に良かったです。また社友会メンバーの高齢化に伴い 着席での開催/いす席の増加/あっさりした料理等々配慮/工夫されておりました。会場内は、「近況報告/ 現役時代の懐かしいお話」等に盛り上がり笑顔に溢れました。ほぼ目標以上の皆様にお集まり頂き喜んで おります。各支部におかれましては、支部長以下執行部の皆様は、ボランティアであり頭が下がる思い です。本当にありがとうございました。感謝です。

ENEOSにおきましては昨年会長の不祥事があり皆様には大変ご心配をおかけしましたが、コンプライ アンスの徹底を図り改善位取り組んでいるとのことです。

石油需要の緩やかな減少は避けられませんが会社として製油所の合理化、販売組織のスリム化に取り組 んでいる最中であります。また新たにカーリースにも取り組み特約店の収益向上にチャレンジしています。

社友会の財務状況は年々厳しくなってきていますが、各支部におかれましては行事の縮小、簡素化等で 工夫を凝らし活動を継続しております。過去の先輩諸氏の皆様が残してくれた財源がありますので、まだ しばらくは社友会の目的である"会員相互の親睦を図る"活動を継続できると思っています。

皆様の積極的な参加をお願いします。末尾になりますが、皆様のご健勝を心から祈念して挨拶と させていただきます。

ENEOS グループでは厳しい経営環境の中で、エネルギーの安定供給を続けながら、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会、循環型社会の実現に向けて挑戦しています。

【第3四半期決算】

グループの売上高の87%を占める【エネルギー事業】では原油価格(ドバイ原油)が大幅に変動(4月102ドル→6月119ドル→12月79ドル)しています。昨年度のドバイ原油価格は72ドル/バーレル(通年)でしたが、今期は平均92ドル(通年予想)に上昇する予想です。また為替レートも10月には150円台まで急速な円安が進行しましたが、12月に日銀の政策修正を受けて130円台前半まで円高となり、期平均では137円になりました。このような大幅な原油価格変動や為替レートの変動が【エネルギー事業】の決算に与えた影響は大きく、第3四半期累計実績では、原油価格等の上昇により、売上高は前年同期比56%増の9兆6200億円に増加しましたが、営業利益では前年同期比▲2980億円の21億円となりました。さらに在庫影響を除くと営業利益は▲763億円(損失)となります。通期でも営業利益は▲500億円(損失)の見込みです。グループ全体では【金属】と【石油開発】が順調だったこともあり、何とか通期見通しで営業利益は2200億円を確保出来る見込です。

尚、今年度は、2020年5月発表の第2次中期(2020-2022)経営計画の最後の年ですが、グループ全体で3カ年合計9700億円の利益目標に対して、8500億円(\blacktriangle 1200億円)になる見込みなので目標達成は難しいようです。

【次世代型エネルギー供給】

エネルギーの安定供給という責任を果たすために、ENEOS はエネルギー転換(トランジション)を実現する計画を進めています。

<和歌山製油所>

現在は敷地内の遊休地にメガソーラー発電所(8.5 MW)建設して稼働させています。また ENEOS はトタルエナジーズ(フランスの石油メジャー)と組んで持続可能な航空燃料製造の事業化調査を、当初は根岸製油所で行うと発表しましたが、現在は和歌山製油所に場所を変更して進めています。 2026年までに年間 30万トン(40万 KL)製造を目指します。

<CO2 分離・回収・貯蔵技術(以下、CCS)>

2022年5月発表: ENEOS と電源開発(株)(Jパワー)の両社は化石燃料の利用に伴う CO2 排出量削減を図るべく国内での対規模な CCS 事業化調査に取り組みます。現状の設備では化石燃料/バイオマス燃料から水素を製造するときに CO2 を排出しますが、この CO 2 分離・回収装置を取り付ければ CO2 を出さない水素(CO2 フリー水素)が製造できます。さらに分離・回収した CO2 を貯留地(海底)まで輸送し、圧入・貯留する設備の検討、貯留地の候補地選定を

進めて2030年大規模 CCS 開始に挑戦します。またこの CCS 技術は石油精製過程や石炭火力発電において排出される CO2 を分離・回収して製油所/火力発電所の脱炭素にも貢献します。

<水素ハイブリッド電車>

2022年5月発表: ENEOS と JR 東日本は鉄道の脱炭素化に向けた CO2 フリー水素利用拡大について共同検討を行う連携協定を締結しました。ENEOS は水素ハイブリッド電車(パンタグラフが無い)向けの定位置式水素ステーション開発を連携して進めます。また ENEOS は JR 東日本の川崎火力発電所へ CO2 フリー水素を供給し、同発電所で水素混焼発電を行うことを共同検討します。

<電気自動車 (EV) 充電サービス事業開始>

2022 年 6 月発表: ENEOS は日本電気(株)(以下、NEC)が運営する EV 充電サービス事業を譲り受ける契約を締結し、EV 充電器 4,600 基の運営・管理業務を開始しました。2022 年 11 月からは、さいたま市と東京都日野市の 2 カ所の S S に急速充電器を設置して充電サービスを開始しています。今後は S S、高速道路 S A、公共施設などに急速充電器を設置して E V 充電ネットワークを構築する計画です。計画では急速充電器を 2025 年度までに 1,000 基以上、2030 年には数千基~10,000 基にする予定です。

これから益々増えてくるカーボンニュートラル関連のニュースに注目しましょう。

(関 好伸 記)

○ 本部役員会が開催されました

2023年度定例本部役員会が2月に開催されましたので、次の通りご報告いたします。

開催日時:2023年2月9日(木)13:30~16:00

開催場所: ENEOS ホールディング㈱大手町本社 ENEOS ビル 319会議室

出席者: 会 長 楢原 雄一 議 長

支部代表役員 北田 順造(東日本)

大塚 雅和 (中 部) 小山 基博 (関 西)

大田 正憲 (九 州)

 事務局長
 小松
 文明
 司
 会

 事務局次長
 小沼
 新一郎
 書
 記

土岐 晃

監 事 猪野 寿男

議事の経緯及び結果

事務局長司会のもと定刻に開会した。

社友会会則第13条の定めにより楢原会長が議長に就任、本部役員会構成メンバー全員の出席を確認 し、本役員会の成立を宣した。引き続き、議案の審議に入り、次の通り全会一致で議決した。

尚、第1号議案及び第2号議案については、審議に先立ち、各支部及び本部より2022年度事業報告・収支決算並びに2023年度事業計画・収支予算について詳細説明があった。

【審 議 事 項】

1. 第1号議案 2022年度事業報告及び収支決算の件 承認

コロナ禍の為、東日本、関西、九州支部は4月の支部総会は書面形式で行い、懇親会を秋に実施 した。また、交流会(東日本)、ハイキング(関西)等の行事が中止となった。

(参照資料)

事業報告: 「2022年度事業報告(本部事業・活動及び支部事業・活動)」

収支決算:「2022年度決算報告書」、「2022年度収支予算/実績対比(総合表)」及び

「2022年度収支予算/実績対比(本部・支部別)」

監査結果: 「意見書」

2. 第2号議案 年度事業計画及び収支予算の件 承認

2023年度事業は会員相互の親睦を図るべく「総会・懇親会」を中心に例年と同様な行事・活動が計画されている。

(参照資料)

事業計画:「2023年度事業計画(本部事業・活動及び支部事業・活動)」

収支予算:「2023年度収支予算書(総合表)」、「2023年度収支予算書(本部・支部別)」

第3号議案 入会金廃止の件 承認

事務局より、入会時に徴収していた入会金(1万円)を2023年より廃止する案が上申され、 承認された。【理由:会社賛助金削減(2018年以降)に対応するため、社友会活動の見直し・ ローコスト化を進めてきた結果、従来に比べ、慶弔の廃止等(供花、鉢植え蘭、カレンダー配布の取り止め)により、会員への還元機会が減少した。一方、最近の新規入会者は年間数人(2018年以降、年平均6人)であり、社友会の財政面への影響は僅少である。】

4. 第4号議案 入会金廃止に伴う会則、施行細則、内規改訂の件 承認

上記に加えて、北田東日本支部長より「会則第6条2項にある年会費」の条文改訂(削除)について動議があり、審議の結果、年会費はこれまでも徴収したことがなく、今後とも不要であることから、当該条文ならびに年会費に関する条文は削除することが承認された。

【その他】協議、連絡事項と質疑応答

- (1) 社友会高齢化に伴う支部活動の今後の方向(協議・意見交換)
 - ① 社友会会則の通り、当面は、総会・懇親会の開催、会報の発行、ホームページの活用を 三本柱とした活動を継続していくことを確認した。
 - ② 今後のコロナの状況にもよるが、承認された予算を有効に活用し、計画された活動を最大限に 推進することを確認した。
 - ③ 今回決議した入会金廃止により、会員・准会員の勧誘が容易になるとの意見があった。
 - ④ また、他支部の総会・懇親会への参加・出席についても、支部長の了解があれば、交流は可能であることを確認した。
 - ⑤ 会員の高齢化(平均年齢)に加えて、将来の年齢構成の推移も考慮にいれ、執行部(本・支部 役員)の体制、現実的な活動内容等、今後も継続して検討・協議していく必要がある。
- (2) 2023年度支部総会への本部役員出席予定者

東日本(4/9):楢原、小松、小沼、土岐

関西 (4/22): 楢原、中部 (4/15): 小松、九州 (4/15): 小沼

- (3) 会報(第66号、5月発行予定) 各支部の総会記事(含む写真)を掲載します。(原稿締め切り:4/30)
- (4) 2024年度本部役員会:2024年2月8日(木)



2022 年 度 事 業 報 告

【本部事業・活動】

1. 定例本部役員会の開催

定例本部役員会を2022年2月10日にオンライン会議にて開催し、①2021年度事業報告及び収支決算、②2022年度事業計画及び収支予算を審議、承認した。2022年度の総会開催の方向性(可能性)について協議した結果、4月開催の見通しは難しいとの共通認識のもと、開催時期・実施方法については「安全・安心の確保」を最優先に、支部・地域の特性を考慮の上、支部役員会にて最終決定することになった。また、集合形式の総会が困難な場合は、書面による総会議決方式とし、感染状況が落ち着いた時期(レベル1以下の状況)に別途、懇親会を開催することも検討することとなった。

2. 本部事務局会議

年5回(品川事務所:1月、6月、10月、12月、オンライン会議:8月)実施した。 *コロナ禍に伴い、自宅で業務処理を行った。

3. 事務所の移転

ENEOS 品川支社の縮小に伴い、11月に社友会事務所(執務室)は18階から21階へ移転した。 また、東日本支部と協働のもと、保存してある書類・資料の整理・廃棄等を実施した。

4. 会員に対する情報の提供

1) ホームページの活用

ホームページ委員・実務担当者の協働のもと、四季折々の画像、本・支部活動、訃報、会員動静、健康ライフ、会員の投稿等、タイムリーな情報提供を行った。

2) 社友会会報の発行(2022年3月)

「社友会会報」は会長メッセージ、グループトピックス、本部役員会議議事録、支部活動報告記事、 会員動静等を記載した。(コロナ禍による支部総会中止に伴い、前倒しで3月に発行)

- 3) 訃報メールの送付
- 5. ENEOS グループの各種サービス利用の案内
 - 1) SOMPOひまわり生命保険会社(旧ІМЅ) 取扱いのグループ保険の資格照合を行った。
 - 2) その他、ENEOS グループが提供するサービス利用の案内
- 6. 天狗の会活動 (ENEOS グループ 5 OB 会との連携)
 - 1) 天狗の会実務者会議

11月の事務所移転に際し、10/25にオンライン会議にて、新事務所のレイアウト等について、 意見交換・調整等を行った。

2022年度事業報告

【支部事業・活動】

1. 総会・懇親会の開催

	支部	開催日	場所	参加会員数
•	東日本(*)	10/16	大手町サンケイプラザ	136
•	中部	4/16	名鉄グランドホテル	12
•	関西(*)	10/8	ホテルアゴーラリージェンシー堺	54
•	九州(*)	11/5	博多天神界隈	22

(*)東日本、関西、九州支部は新型コロナウィルス感染拡大のため、4月の総会は書面形式で行い、 懇親会を上記の通り開催した。

2. 広報活動

東日本:総会審議事項、懇親ゴルフ大会、懇親会の記事をHPに掲載した。また、会社の動向・ 情報などを収集し、3月発行の社友会会報に記載した。

● 関西 : HPへの掲載(4月総会・懇親会並びに春季ゴルフコンペの中止、10/8懇親会の記事)

◆ 九州 : HPへの掲載(11/5 落語鑑賞会の記事)

3. 支部事業活動

● 東日本: 懇親ゴルフ大会 (9/22@レイクウッド CC、45 名参加) は実施したが、交流会は 新型コロナにより、中止した。

◆ 中部 :新型コロナウィルス感染の終息が見込めず、総会以外の行事は中止した。

● 関西 : 豪雨の為、秋季ゴルフコンペ並びに新型コロナにより、春・秋ハイキング同好会 行事は中止した。

● 九州 : 11/5 落語鑑賞会を実施した。(博多・天神落語祭り、18 名参加)

4. 支部役員会活動

東日本:5回の定例役員会((2月、6月、8月、11月、12月、2月のみオンライン会議)
 及び懇親会直前の10月臨時役員会の計6回の支部役員会を実施した。タスクチームはゴルフ大会:5回、懇親会:4回の個別打ち合わせを実施した。

その他、11月の社友会事務所移転に伴い、書類・資料の整理・廃棄を実施した。

● 中部 :電話&メールにて適宜対応し、対面での役員会は実施せず、今期及び来期の収支状況 及び来期総会の開催方針を打ちあわせた。

- 関西:4回の定例役員会を実施した。2月(オンライン会議:本部役員会の報告並びに総会・ 懇親会、2022年度諸活動の実施案詳細討議)、3月(オンライン会議:総会は書面形式、 懇親会は日時延期を決定)9月(懇親会案内状発送)、12月(集合会議:2022年度活動 のレビュー、2023年度活動計画案の協議・作成)
- 九州 :5回の定例会議を実施。オンライン会議(2月、8月、11月)、集合会議(4月、11月)役員改選、今後の支部活動方向性を検討するためのアンケート調査を実施した。
- 5. 会員数の推移 (2022年1月1日~2022年12月31日)

	東日本	中 部	<u>関西</u>	九 州	合計 ()内は准会員数
2021/12/31	637	14	347	37	1,035 (32)
入 会	5	0	1	0	6 (1)
移 動	0	0	0	0	0 (0)
逝去等	-25	-1	-8	-3	-37 (0)
2022/12/31	617 (25)	13 (0)	340 (2)	34 (6)	1,004 (33)

6. 准会員制度:(東日本:25名、関西:2名、九州:6名)

2023 年 度 事 業 計 画

【本部事業・活動】

- 1. 定例本部役員会の開催 (2023年2月9日 13:30~)
 - 1) 2022年度事業報告及び収支決算・2023年度事業計画及び収支予算の審議。
 - 2) 入会金廃止の審議
 - 3) 会則並びに施行細則改訂の審議
- 2. 各支部総会への本部役員の参画(出席)
 - ·東日本:楢原、小松、小沼、土岐
 - · 関西: 楢原、中部: 小松、九州: 小沼
- 3. 会員に対する情報の提供
 - 1) ホーム・ページの運用
 - ・HP委員及び支部HP担当を中心に内容を充実させ、また広く会員に投稿を働きかけることによりアクセス数の増加を図る。
 - ・会員の意見を反映した内容の改善。
 - ・「HP実務担当者委員会議」開催:年1回(7月~9月頃)
 - 2) 社友会会報の発行
 - ・年1回(5月)発行する。
 - 3) 訃報メールの送付
 - 4) 情報伝達手段としての電子メールの活用
 - ・各支部と協力し、メールアドレス登録同意者の増加を図る。(携帯アドレス含む)
 - 5) タイムリーな会社状況の情報提供
- 4. 会員名簿のメンテナンス (会員名簿の発行、配布は取り止め)

会員名簿のメンテナンス(更新)をタイムリーに行い、2015年発行からの変更点は「社友会報」 に掲載する。

- 5. ENEOS グループの各種サービス利用の案内
 - 1) SOMPO ひまわり生命保険会社(旧IMS) 取扱いのグループ保険の資格照合
 - 2) ENEOS グループが提供するサービス利用の案内
- 6. 天狗の会活動 (ENEOS グループ 5 OB 会との連携)
 - ・実務者懇談会 : 2023年2月(予定)

2023 年 度 事 業 計 画

【支部事業・活動】

1. 支部総会・懇親会の開催

<u>支 部</u>	_日 時	場 所
東日本	4月9日(日)	大手町サンケイビル4F"サンケイプラザ"
中部	4月15日(土)	名鉄グランドホテル12F "四季"
関西	4月22日(土)	ホテル・アゴーラリージェンシー堺
九州	4月15日(土)	ANAクラウンプラザ福岡

但し、各支部とも新型コロナの感染状況により、開催可否については別途判断する。

2. 広報活動

- ① 本部発行の「会報」編集へのサポート。② HPに各支部行事内容紹介記事・写真を投稿する。
- ③ 個人記事の投稿者の選定や原稿の収集に協力する。

3. 会員活動の支援等

● 東日本: 懇親ゴルフ大会の開催 (9/26@レイクウッドCC)

● 中部 : 新型コロナウィルス感染状況を見ながら、有志による屋外での集まりを検討。

● 関西 : ゴルフ同好会のコンペ (春:4/21・秋10/2@関西空港ゴルフクラブ)、ハイキング同好会

の名称を変更「旬を訪ねて」(仮称)し、秋バス旅行として実施。

● 九州 : 支部総会の前日に懇親会を継続開催する方向で検討。(費用は参加者自己負担を原則)

予算の範囲内でレク活動(日帰りバス旅行、落語、食事会等)を企画・実施。

4. HP・Eメール関連の活動

東日本: HPに支部活動・支部役員活動を掲載し、支部会員とのコミュニケーションを図る。

● 関西 :メールアドレスの登録を呼びかける。支部活動内容のHPへの投稿。

● 九州 : インターネット利用率の向上とHPへの投稿数の増大を図る。会員個人のトピックスや 地域情報の発信などのテーマにつき投稿を依頼し、HPの充実に貢献する。

5. 役員会等の活動

● 東日本:年間6回(1・2・6・8・11・12月)の定例役員会と1回の臨時役員会(総会前)を計画。 総会・ゴルフ大会とも各タスクチームを中心に準備を進める。従来と同様、本部事務局と 常に意思疎通を密にして協力しながら支部活動を運営する。

申部 :総会準備など必要に応じ、年2回の定期役員会を開催し、高齢化の進む今後を見据えた 対応策を検討する。

● 関西 :2・3・4・12月 に実施。(本部役員会の報告、年間活動計画、スケジュール・支部役員 役割分担の確認、総会・懇親会の案内状発送、総会・懇親会実施最終確認、2023 年度 活動実績のレビュー、2024 年度計画討議、役員改選の確認等)

● 九州 :3回実施。(総会・懇親会・レク活動の開催要領、活動実績レビュー・次年度計画協議) 経費削減を考慮して、オンライン会議を中心として実施する。

○ 支部活動報告(総会・懇親会トピックス)

東日本支部 : 2023年度 東日本支部総会・懇親会

2023 年度 東日本支部総会・懇親会が 4 月 9 日(日) に開催されました。当日は天候にも恵まれ総勢 140 名の方が参加くださいました。遠くは福島(小川晃弘さん)、石川(本田 博さん)から参加くださっただけでなく、関西支部長小山基博さん、中部支部長大塚雅和さんのお二人も参加くださいました。

始めに総会では、支部長の北田さんから開会のご挨拶、来賓として ENEOS(株) 潤滑油需給部長の勝田さんからのご挨拶、会社の近況等の説明を頂き、社友会会長の楢原さんのご挨拶と乾杯の音頭で懇親会がスタートしました。

前回の開催から約半年が過ぎ、未だコロナ感染も終息していませんが、マスク着用等の感染対策も緩和 され例年のような和やかな雰囲気の中、そこかしこで歓談が行われ旧交を温めておられました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、来年4月14日の支部総会・懇親会で皆さんと再会できることを約束し、お開きとなりました







中部支部 : 2023年度 中部支部総会・懇親会

2023年4月15日(土) 12時より、昨年に引き続き名鉄グランドホテル12階日本料理「四季」にて中部支部総会・懇親会が開催されました。

昨年は3年振りの開催で多くの方にお会い出来ましたが、今年は会員の皆様の高齢化と体調を 崩されている方も多く、残念ですが昨年に比べ参加者が減少となりました。

それでも中部支部の活動の基本は、年に一度は一人でも多くの会員の皆様がお会いし親睦を深める事であり、今回は小松事務局長をお迎えし元気な笑顔で楽しい時間を過ごして頂けました。

平均年齢が80歳を超えた最年長支部として、会員全員が健康第一に次の再会を楽しみにして おります。



(大塚 雅和 記)

関西支部 : 2023年度 関西支部総会・懇親会

令和5年度の総会、懇親会を4月22日(土)11:30~13:30 アゴーラリージェンシー堺4階ロイヤルホールにて開催致しました。当日は春らしいお天気に恵まれロイヤルホール前では懐かしい皆様の姿が…嬉しかったです。

会場では柴田支部役員による開会宣言と物故者へのご冥福を祈っての黙祷後、総会に進み、小山支部長より議事(令和4年活動状況及び令和5年度活動計画)が説明されました。令和4年度はコロナ感染の為、総会を4月に書面で、懇親会を10月に行い、その他の行事はほぼ中止しました。令和5年度の活動としては春/秋のゴルフ開催とハイキング同好会から「おいしい街歩き」に名称を変更し秋にバス旅行を計画している旨の説明がありました。

総会後は懇親会へ移行、来賓として ENEOS 株式会社より堺製油所長の髙本様他、幹部社員3名の方の 出席を頂きした。髙本様からは会社の近況説明を頂き、皆様身動きもせずにスクリーンに写される説明 資料にくぎづけでした。この後社友会会長、楢原氏の挨拶のあと乾杯の音頭のもと懇親会へと続きました。

懇親会は令和2年からのコロナ感染拡大の為、中止してまいりましたが令和4年秋の開催から少しずつ元に戻し、今年はコロナ感染症も収束気味となりました事から定例の4月開催の運びになりました。参加人数もコロナ前と比べると少ないですが総会・懇親会を無事に開催出来、関西支部役員一同大変嬉しく思っております。参加者74名(女性2名)と和やかな懇親会の開催でした(支部会員68名/社友会会長及びENEOS 株式会社堺製油所から4名,他支部からの参加1名)

会場はテーブル着席で飲食をする事で、コロナ感染対策を継続致しました。久しぶりに出席された方も居られ、各テーブルでは皆さん笑顔で元気な姿を確認し近況の話をされ楽しい時間を過ごされたようです。宴も進むとテーブル間の移動や立ち話をする人も居られましたが、少人数で小声での会話と話が尽きることはありませんでした。懇親会も次第に盛り上がり最高潮になりかかった頃には食事もほぼ無くなりお酒をたしなんだ紳士たちは顔を赤らめた姿が目立ち始め、お腹も満足感を呈した様です。中締めは新倉副支部長より、そして柴田支部役員の閉会の辞をもって令和5年度の懇親会も無事に幕を下ろしました。



(北島 則之 記)

九州支部 : 2023年度 九州支部総会・懇親会

九州支部では去る4月15日(土)に総会並びに懇親会を2019年以来久しぶりに ANA クラウンプラザホテル福岡において開催しました。

久しぶりの開催ではありましたが、今回は出席者が8名となり、残念ながら過去最低となりました。 総会は大田支部長の挨拶の後、次の事項について支部長及び支部幹事から報告説明が行われ、会員の 皆様に了解を頂きました。

- (1) 2023年度本部役員会報告
 - ① 社友会2022年度事業報告及び収支決算
 - ② 社友会2023年度事業計画及び収支予算
 - ③ 入会金廃止による会則等の改正
- (2) 2022年度九州支部事業報告及び収支決算
- (3) 2023年度九州支部事業計画及び収支予算

以上で総会の議事はとどこうりなく終了し、引き続き懇親会に移りましたが、最初に今回来賓として お越しいただいた本部の小沼事務局次長にご挨拶並びに ENEOS グループ社友会の現状など貴重なお話し を聞かせて頂きました。

乾杯の音頭を前支部長の橋本典章さんにお願いし、懇親会を開始しました。皆さんやはりゼネラル石油に在籍した時の武勇伝や失敗談などの思い出話に花が咲いていました。飲み物や料理がいきわたり盛り上がったところで、皆さんに近況報告をお願いしましたが、体調に関する話が多い中、佐世保から参加された88歳の高橋さんは月に4回ゴルフを楽しんでいるとお聞きし、お元気で羨ましいと皆さん驚いていました。

こうして楽しい時間も過ぎ中締めとなりました。音頭は永年九州支部の幹事をして頂きました梅尾さんにお願いし、又来年再会を約束して総会及び懇親会を終了しました。



(山下 和夫 記)

2023年度社友会役員名簿(敬称略)

本部 会 長 : 楢原 雄一

監事: 猪野寿男

支部代表役員: 各支部長が兼任(4名)

·東日本支部 支部長 : 北田 順造

副支部長 : 関 好伸

幹 事 : 坂上 正人 成島 やす子

佐川 宣子 島田 昌人

 渡辺
 圭

 稲名
 康幸

•中部支部 支部長 : 大塚 雅和

幹 事 : 飯塚 千恵子

• 関西支部 支部長 : 小山 基博

副支部長 : 新倉 吉則

幹 事 : 茅田 修二 河村 久美男

 北島
 良則
 柴田
 一利

 小峠
 丈二
 岩本
 晃

小林 宣之

• 九州支部 支部長 : 大田 正憲

幹 事 : 和田 哲雄 山下 和夫

会長、本部事務局長、事務局次長及び監事は2022年度本部役員会(2022年2月10日)において 選任されました。支部役員は2022年の支部総会において選任されました。

任期は本部・支部役員ともに、規定により2年(補欠又は増員により選任された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間)となっています。

2023年 長寿お祝いの方々

今年中に長寿の記念日をお迎になられる(た)方は、次の通りです。(50音順)

<u>卒寿(90歳) 13名</u>											
	青柳 邦雄	さん	小宮山 貞夫	さん	野澤 俊輔	さん					
	今井 重信	さん	佐藤 昭弥	さん	細川 佐江子	さん					
	岩付 英男	さん	竹村 智	さん	村松 武	さん					
	川井 信義	さん	西川 衛	さん							
	小宮 淳之	さん	丹羽 保	さん							
<u>米寿(88歳) 32名</u>											
	相川 直昭	さん	木野 納	さん	松井 日出雄	さん					
	相戸 義孝	さん	久保田 建三	さん	宮前 勝夫	さん					
	青木 靖	さん	坂口 英人	さん	安宅 勝一	さん					
	浅沼 誓子	さん	佐藤 海	さん	八代 俊彦	さん					
	五十嵐 正典	さん	竹村 峻	さん	山田 準一郎	さん					
	石田 宏樹	さん	谷畑 克己	さん	山田 正二	さん					
	碓井 廣	さん	勅使河原 弘海	さん	吉岡 勀	さん					
	漆間 秀唯	さん	富山 信幸	さん	吉田 忠明	さん					
	緒方 啓雄	さん	那谷 順治	さん	若林 陽明	さん					
	景山 豪治	さん	長谷川 修一	さん	丸山 幸男	さん					
	加藤 武夫	さん	花田 廣勝	さん							
喜寿(7	77 告) 4.	4名									
	五十嵐 正男	エユー さん	栗田 正弘	さん	内藤 進	さん	宮原 健三	さん			
	石田 俊幸	さん	後藤 正春	さん	仲尾 延夫	さん	留 孝治	さん			
	石原 邦子	さん	小林 利江	さん	永島 覚	さん	森川 修	さん			
	岩元 千鶴子	さん	米埜 悦治郎	さん	永渕 秀彦	さん	八瀬和夫	さん			
	宇田 三男	さん	笹山 孝治	さん	中元 章次	さん	山本 俊六	さん			
	梅村 晃	さん	佐藤 昭	さん	西埜 明	さん	吉田 和男	さん			
	太田 聡	さん	鹿目 ナミエ	さん	西村 義治	さん	吉田 和子	さん			
	角間 充	さん	城尾 芳春	さん	林 明	さん	飯島 康輔	さん			
	川西 剛次郎	さん	鈴木 茂	さん	堀 節子	さん					
	北谷 正一	さん	鈴木 義隆	さん	水口 浩一	さん					
	木村 武晴	さん	玉井 康陽	さん	水田 俊之	さん					
	木村 紀子	さん	鳥居 朝男	さん	宮川 孝治	さん					
<u>古希(70歳) 30名</u>											
	青木 千佳子	さん	北田 順造	さん	玉川 陽一	さん	宮坂 順一	さん			
	井田 憲行	さん	工藤 正人	さん	中村 忠彦	さん	宮島 親司	さん			
	猪野 壽男	さん	黒田 哲行	さん	中村 照美	さん	矢野 昌成	さん			
	岩見 和孝	さん	関 好伸	さん	中村 宏幸	さん	大滝 典子	さん			
	臼井 健一	さん	高島 進	さん	西山 清春	さん	管野 雅子	さん			
	大竹 忠幸	さん	高月 邦彦	さん	野口 雅代	さん	宮嶋 啓年	さん			
	大野 昭彦	さん	高見 茂	さん	野村 充	さん					
	柏木 照男	さん	竹川 克則	さん	保坂 剛	さん					

以上 119名

○会員の動き

前号(第64号 2021年3月吉日発行)でご連絡した以降の会員の動きをご報告致します。

1) 新入会員(2022年3月1日~2023年4月30日、*印は准会員)

中島 洋治(*) (中部支部) 2023年4月 森本 達也 (関西支部) 2023年4月 渋谷 久(*) (東日本支部) 2023年3月 岡本 由幸(*) (関西支部) 2023年2月 藤田 昌宏 (関西支部) 2023年2月 (関西支部) 2023年2月 原口 隆(*) 片山 淳 (東日本支部) 2023年2月 池田 満 (東日本支部) 2022年10月 大貫 淳史(*) (東日本支部) 2022 年 8 月 神田 修 (東日本支部) 2022年5月 森田 俊憲 (関西支部) 2022年5月 末森 敦 (東日本支部) 2022年5月 森 秀喜 (東日本支部) 2022 年 5 月

- 2) 移動会員(2022年3月1日~2023年4月30日、*印は准会員) 該当者無し
- 3) ご逝去 (2022年3月1日~2023年4月30日)

次の方々がお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

三輪	勝久	さん	2023年04日16日	享年 86 歳	中部支部
香川	幸枝	さん	2023年04月12日	享年 97 歳	関西支部
宇田	三男	さん	2023年04月11日	享年 76 歳	関西支部
竹井	昭男	さん	2022年12月26日	享年 86 歳	東日本支部
伊藤	嘉朗	さん	2023年03月01日	享年 88 歳	東日本支部
向井	馬伝雄	さん	2023年02月26日	享年 89 歳	九州支部
芦澤	廣太郎	さん	2023年03月02日	享年 70 歳	東日本支部
馬場	襄	さん	2023年02月19日	享年 91 歳	関西支部
増田	俊英	さん	2023年02月10日	享年 73 歳	東日本支部
岸菜	男	さん	2023年02月02日	享年 73 歳	東日本支部
戸田	泰弘	さん	2023年01月28日	享年 82 歳	関西支部
高村	勝抜	さん	2023年01月31日	享年 79 歳	九州支部
岩本	錬	さん	2023年01月25日	享年 74 歳	東日本支部
澤田	壽一	さん	2023年01月03日	享年 85 歳	東日本支部
藤本	明	さん	2022年09月01日	享年 101 歳	東日本支部
佐藤	実	さん	2022年12月28日	享年 86 歳	東日本支部
藤ノオ	、 秀正	さん	2022年11月22日	享年 91 歳	東日本支部
中村	元禧	さん	2022年11月15日	享年 91 歳	東日本支部
牛山	優	さん	2022年10月16日	享年 78 歳	東日本支部

坂口	一郎	さん	2022年10	月 15	日	享年 94 歳	東日本支部
井上	主計	さん	2022年10	月 10	日	享年 89 歳	九州支部
木下	嚴夫	さん	2022年10	月 06	日	享年 84 歳	東日本支部
高津	誉	さん	2022年08	月 07	日	享年 85 歳	九州支部
石本	茂樹	さん	2022年09	月 29	日	享年 86 歳	東日本支部
大森	道生	さん	2022年08	月 27	日	享年 87 歳	東日本支部
中川	弘	さん	2022年09	月 30	日	享年 80 歳	関西支部
多田	稔	さん	2022年09	月 05	日	享年 76 歳	関西支部
力石	一三	さん	2022年08	月 28	日	享年 78 歳	関西支部
西村	英夫	さん	2022年08	月 22	日	享年 85 歳	関西支部
澤井	繁繁	さん	2022年07	月 16	日	享年 87 歳	東日本支部
馬渡	康二郎	さん	2022年06	月 21	日	享年 86 歳	東日本支部
杉野	優	さん	2022年06	月 18	日	享年 77 歳	関西支部
市川	清	さん	2022年06	月 08	日	享年 85 歳	東日本支部
佐藤	猛	さん	2022年05	月 07	日	享年 78 歳	東日本支部
新田	耕也	さん	2022年03	月 04	日	享年83歳	東日本支部
竹内	満夫	さん	2022年05	月 18	日	享年 84 歳	関西支部
栗原	多摩夫	さん	2022年05	月 04	日	享年 99 歳	東日本支部
関悟	京郎	さん	2022年03	月 28	日	享年 99 歳	東日本支部
中村	浩平	さん	2022年03	月 29	日	享年 87 歳	東日本支部
平点	司	さん	2022年03	月 25	日	享年 86 歳	東日本支部
佐久間	予	さん	2022年03	月 23	日	享年 82 歳	東日本支部
友利	賢治	さん	2022年03	月 25	日	享年 82 歳	中部支部
津末	良昭	さん	2022年03	月 09	日	享年 82 歳	関西支部
西脇	宏尚	さん	2022年03	月 08	日	享年 83 歳	東日本支部

推移(2022年3月1日~2023年4月30日) ()は准会員数 内数

	2022/2/28	<u>入会</u>	逝去等	<u>移動</u>	2023/4/30
東日本支部	632 (24)	7(2)	29(1)		610 (25)
中部支部	14	1(1)	1		14(1)
関西支部	346(2)	5(2)	11		340 (4)
九州支部	36 (6)		4		32(6)
合 計	1,028(32)	13(5)	45 (1)		996 (36)

社友会事務局だより (次号をお届けするまで 保存 願います。)

社友会会報が65号となりました。第1号が発刊されたのは1990年12月25日で、 事務局には、その年以降の活動を記録し続けてきた会報が、全てファイルされて おります。

1) 会員名簿の発行は取止めています。

2015年11月に発行した「会員名簿」以降の会員の「新規加入・移動・住所変更」に つきましては、「会報 56 号」~「会報 65 号」及び今回「会報 66 号」をご覧ください。

2) 社友会事務局へのご用の際の連絡方法について

ゼネラル社友会事務局員は業務効率化により毎月1~2回程度しか事務所に 出ていません。なるべくEメールでご連絡ください。

社友会事務局との連絡方法は次の通りです。

住 所 : 〒108-8005 東京都港区港南一丁目8番15号 Wビル21F

ゼネラル社友会事務局 宛

電話: 070-5026-5499

 $E \nearrow - \mathcal{V}$: bcd05340@nifty.com

尚、急ぎの用件の場合は、直接 090-7969-8712の小沼まで お願いいたします。

- 3) 社友会以外への連絡・問い合わせについて
- 計報·企業年金

連絡先名称: ENEOS㈱ 人事部 勤労グループ 企業年金チーム 東燃ゼネラルグループ確定給付企業年金

東燃ゼネラルグループ用専用ダイヤル(03-6257-7020)に お電話願います。

尚、電話番号非通知拒否設定(電話番号を通知する)にして下さい。

② 社会保険

連絡先名称:ENEOSビジネスサービス 給与厚生グループ

電話番号 : 045-414-8801

③ グループ損害/生命保険

連絡先名称:ENEOS保険サービス

電話番号 : 0120-417-342

④ ENEOSグループOB会事務局(入会関係)

連絡先名称: ENEOSキャリアサポート株式会社企画管理室

電話番号 : 03-6803-5565

連絡先住所:〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2新日石ビルヂング6階

FAX : 03-5220-1105

社友会では、年金関係についての問い合わせや相談には応対できません。直接会社へ お問い合わせ下さいますようお願い致します。

また、弔時の際には社友会への連絡とは別に会社へも連絡が必要ですので、宜しくお願い致します。(ご家族の方にもご周知下さいますよう、お願い申し上げます)

以上